

9 治水対策の推進について

(財務省、国土交通省)

【内容】

- (1) 水害や土砂災害から県民の生命・財産を守り、安全で安心な社会生活を実現するため、直轄河川改修事業、直轄ダム事業及び直轄砂防事業を推進すること。特に、庄内川については、洗堰の締切りに向けて、河川改修事業を早期に完了させること。
- (2) 平成20年8月末豪雨災害に対する再度災害防止を図り、流域住民の安全で安心な生活を確保するため、伊賀川、広田川、砂川、占部川及び鹿乗川の床上浸水対策特別緊急事業を強力に促進すること。

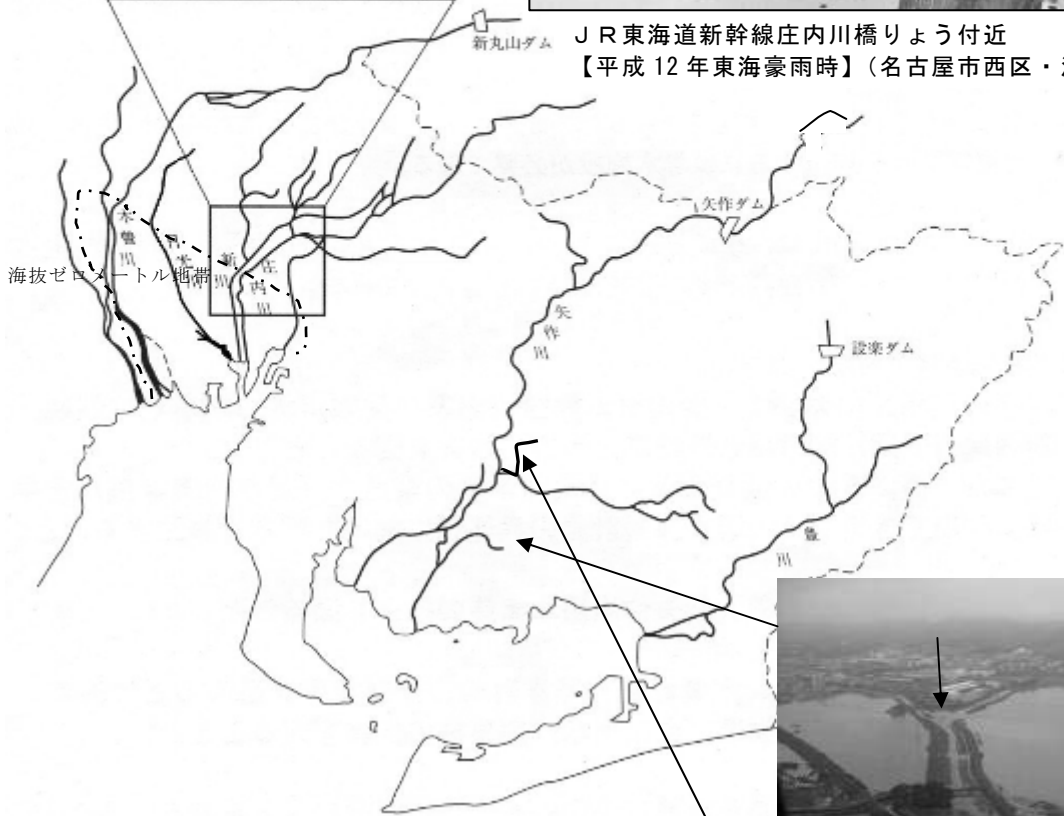
(背景)

- 本県は、西部のゼロメートル地帯など低平地が多く、洪水の想定氾濫区域は県土のおよそ2割を占め、区域内には約300万人が居住し40兆円を超える資産が存在している。県民が安全で安心な社会生活を営むためには、河川改修、ダム建設、既存施設等の徹底的な機能確保や広域的な危機管理対策を図り、水害を軽減する必要がある。
- 庄内川においては、東海豪雨を契機として河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）により事業進捗が図られてきたが、西枇杷島地区の狭窄部対策や洗堰の締切り、河口部の浚渫を求める声が非常に強い。
- 一昨年（平成20年）8月末豪雨では、県内各所で時間雨量100mm以上を記録し、特に岡崎市美合町では時間雨量146.5mmを記録した。同市内の伊賀川流域では浸水被害により2名の方が亡くなられた。また、広田川の破堤により広大な農地が6日間にわたって冠水したのを始め、複数の河川で越水、護岸決壊するなどとともに、約13,500世帯に及ぶ床上・床下浸水被害など平成12年の東海豪雨災害に次ぐ大災害となった。

(参 考)



J R東海道新幹線庄内川橋りょう付近
【平成12年東海豪雨時】(名古屋市西区・清須市)



平成20年8月末豪雨

広田川の破堤状況 (額田郡幸田町)

(イメージ図)



新丸山ダム (岐阜県八百津町・御嵩町)



伊賀川の出水及び被害状況 (岡崎市)

